



2011年度(平成24年3月期) 決算説明会

エーザイ株式会社

2012年5月15日

hhe
human health care

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらの文言は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文言とは異なる現実的な結論、結果を招き得る不確実性に基づくものです。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関による審査期間や承認取得、国内外の保健関連改革、マネジドケア、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制など、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
- また、承認済み製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を構築する能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の受容が得られない場合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。
- 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。

2011年度 連結損益業績



(億円、%)

	2010年度		2011年度		
	実績	売上比	実績	売上比	前期比
売上高	7,689	100.0	6,480	100.0	84
売上原価	1,678	21.8	1,734	26.8	103
売上総利益	6,011	78.2	4,746	73.2	79
研究開発費	1,450	18.9	1,251	19.3	86
販売管理費	3,430	44.6	2,537	39.1	74
営業利益	1,131	14.7	957	14.8	85
経常利益	1,052	13.7	900	13.9	86
当期純利益	674	8.8	585*	9.0	87
キャッシュ・インカム	1,200		1,077*		90

キャッシュ・インカム: 成長投資・事業開発、配当支払、借入返済等に使用可能なキャッシュの総額

算式: 当期純損益 + 有形・無形固定資産減価償却費 + インプロセス研究開発費 + のれん償却額 + 減損損失 (投資有価証券評価損含む)

2011年度期中平均レート: 米ドル: 79.08円 (前期変動率△7.7%)、ユーロ: 108.97円 (同△3.7%)、ポンド: 126.22円 (同△5.2%)

* 2011年12月に公布された改正法人税法等に伴う税率変更の影響70億円含む

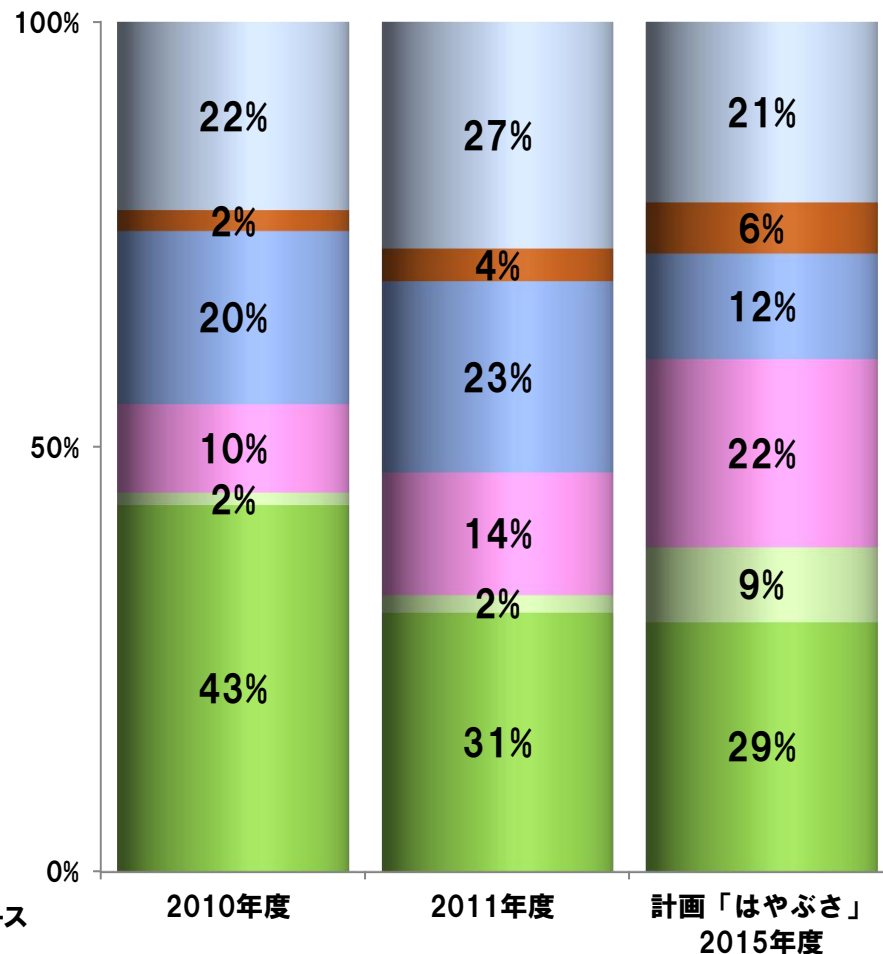
オンコロジーフランチャイズ売上高

フランチャイズのトランスフォーメーションは順調に進行



(億円、%)

	2010年度	2011年度	
	実績	実績	前期比
ハラヴェン	22	160*1	739 [784]
シンペンダ /トレアキシ*2	8	32	405 [405]
Aloxi	346	345	100 [108]
Dacogen	162	173	107 [116]
Fragmin	164	139	85 [92]
その他	102	82	81
がん関連製品計	803	931	116 [125]



[]内は現地通貨ベース

*1 ハラヴェンの米国売上高は137百万米ドル

*2 シンペンダ(シンガポール)は2010年9月、トレアキシ(日本)は2010年12月に上市
シンペンダ(韓国)は、2011年10月に上市

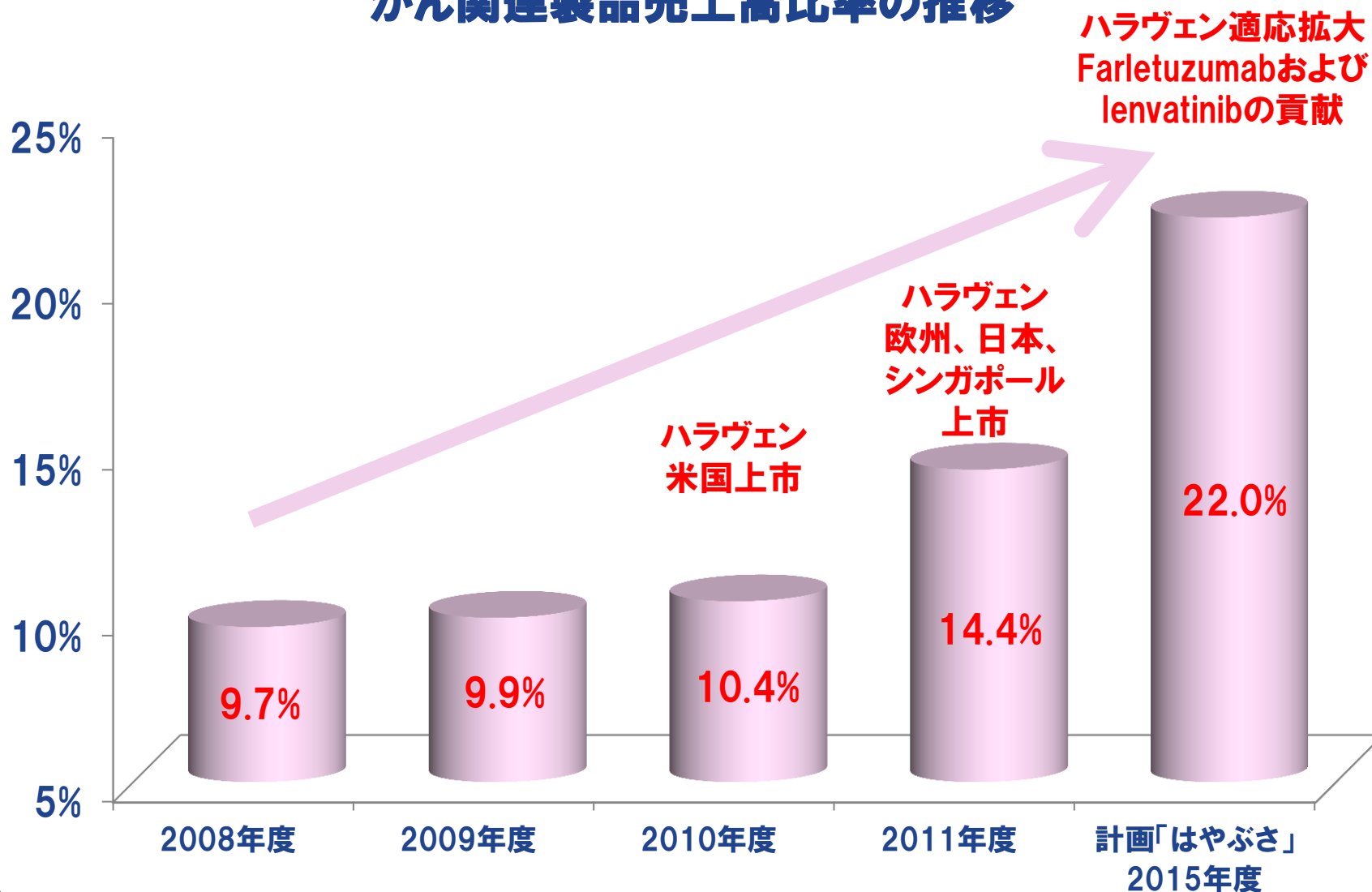
● がん関連製品は25%*3成長し、連結売上高比率は14.4%へ

■ 脳神経 ■ てんかん ■ がん
■ 消化器・肝臓 ■ 免疫/アレルギー ■ 他ブランド

抗がん剤領域の売上高比率の急進拡大



がん関連製品売上高比率の推移



アリセプト、パリエット/アシフェックス売上高 大競争時代においても健闘するイーストアジア



アリセプト

(億円、%)

	2010年度	2011年度	
	実績	実績	前期比
イーストアジア (日本*1)	1,108 (1,055)	1,138 (1,083)	103 (103)
米国 [百万米ドル]	1,534 [1,790]	114 [144]*2	7 [8]
欧州	244	201	83 [86]
ニューマーケット アセアン	18	17	95 [102]
計	2,904	1,471	51 [51]

パリエット/アシフェックス

(億円、%)

	2010年度	2011年度	
	実績	実績	前期比
イーストアジア (日本*1)	632 (602)	636 (609)	101 (101)
米国 [百万米ドル]	656 [765]	559 [707]	85 [92]
欧州	64	52	81 [84]
ニューマーケット アセアン	18	17	96 [103]
計	1,369	1,264	92 [96]

[]内は現地通貨ベース

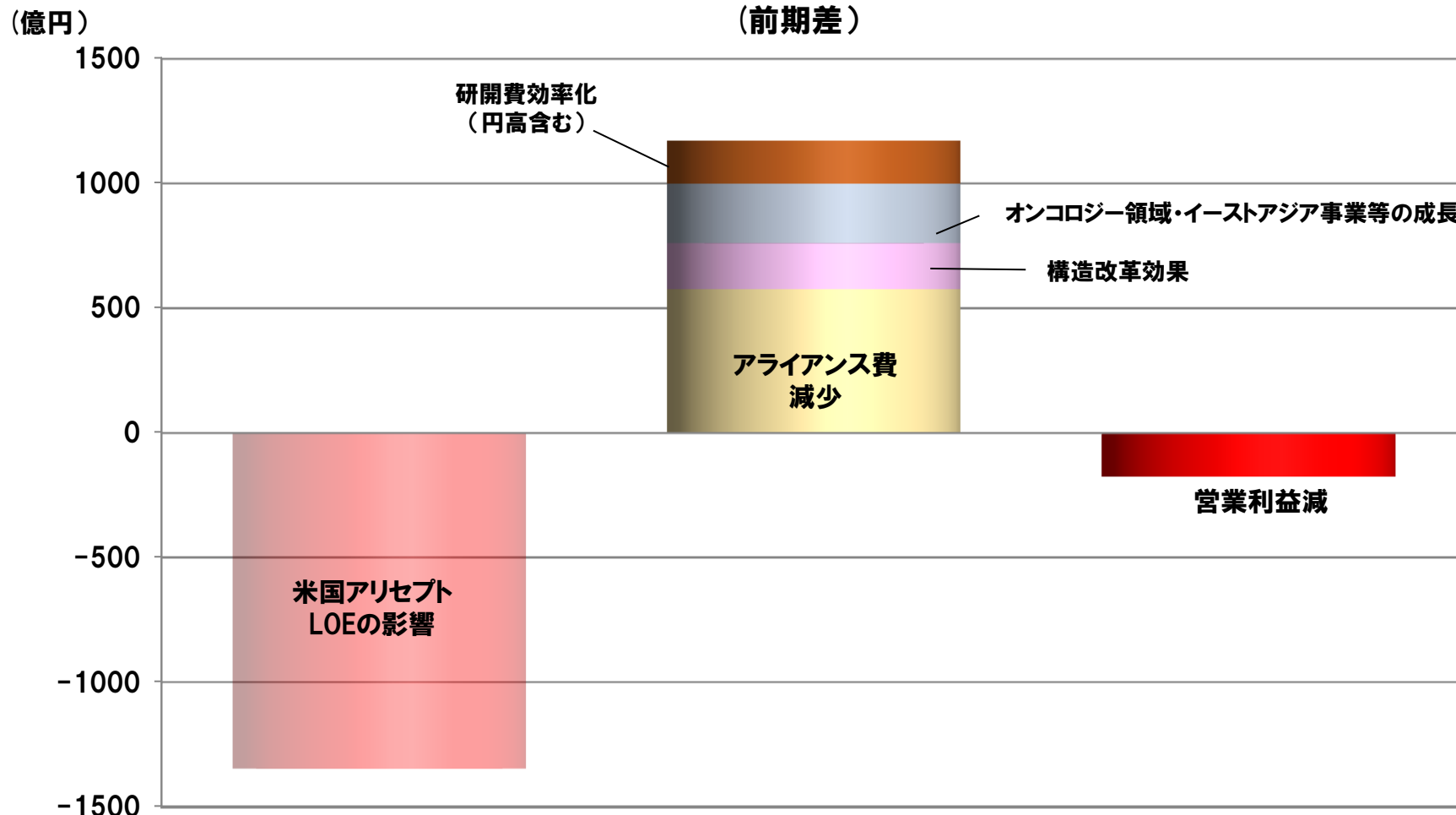
[]内は現地通貨ベース

*1 日本医療用医薬品

*2 米国はアリセプト23mgの売上高51百万米ドルおよび
AG(オーソライズドジェネリック)36百万米ドルを含む

米国アリセプトLOEの影響分析

2011年度営業利益増減要因分析 (前期差)



**アライアンス費減少、オンコロジー領域・イーストアジア事業等の成長等により
2011年度営業利益レベルでは米国LOEの影響を最小限に抑制**

セグメント売上高

リージョナルトランスフォーメーションは計画「はやぶさ」の軌道へ

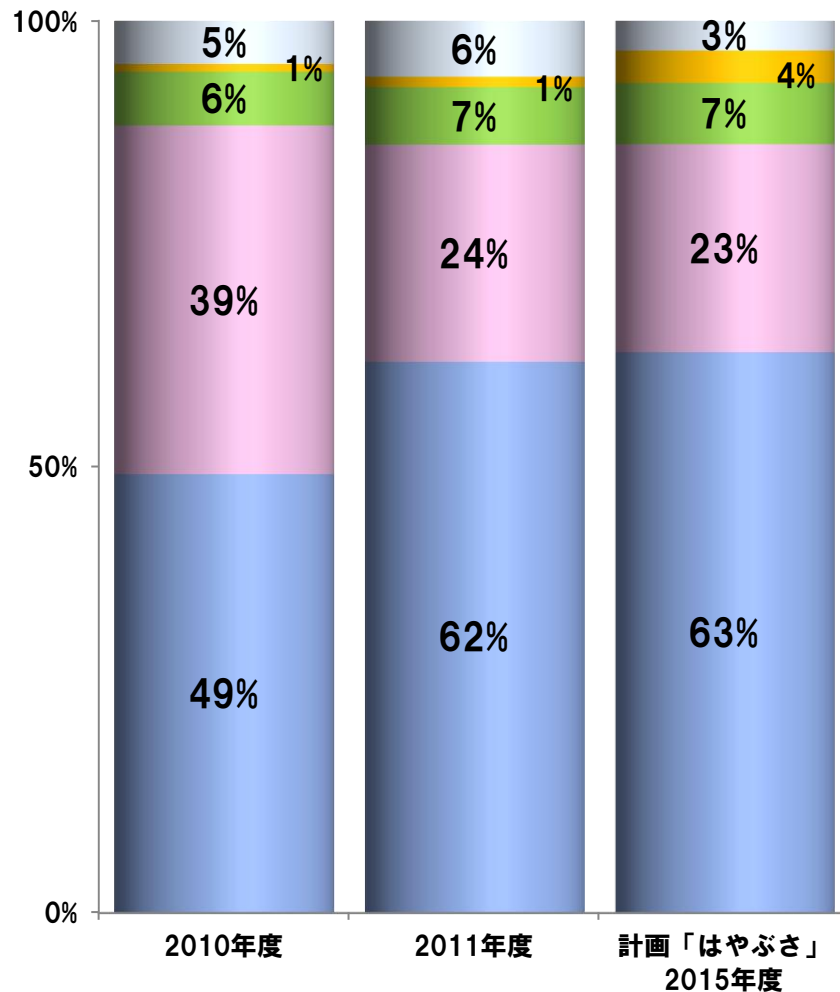


(億円、%)

	2010年度		2011年度		
	売上高	構成比	売上高	構成比	前期比
イーストアジア* (日本)	3,757 (3,504)	48.9 (45.6)	4,004 (3,726)	61.8 (57.5)	107 (106)
米国*	3,030	39.4	1,574	24.3	52 [56]
欧州*	444	5.8	422	6.5	95 [99]
ニューマーケット アセアン*	69	0.9	72	1.1	103 [109]
報告セグメント計	7,301	94.9	6,071	93.7	83 [85]
その他事業	389	5.1	409	6.3	105
連結売上高	7,689	100.0	6,480	100.0	84 [86]

[]内は現地通貨ベース

*イーストアジア、米国、欧州、ニューマーケット アセアンは医薬品事業



■ イーストアジア
■ 欧州
■ その他事業

■ 米国
■ ニューマーケットアセアン

hbc
human health care

セグメント利益

医薬品ビジネスの利益率は改善



(億円、%)

	2010年度			2011年度				
	セグメント利益	構成比	利益率	セグメント利益	構成比	利益率	前期比	前期差
イーストアジア* (日本)	1,491 (1,450)	55.9 (54.3)	39.7 (41.4)	1,677 (1,626)	73.2 (70.9)	41.9 (43.6)	112 (112)	186 (176)
米国* [百万米ドル]	944 [1,101]	35.4	31.2	340 [429]	14.8	21.6	36 [39]	△605 [△672]
欧州*	47	1.8	10.6	71	3.1	17.0	152	25
ニューマーケット アセアン*	10	0.4	14.4	10	0.4	13.9	100	△0
報告セグメント計	2,492	93.4	34.1	2,098	91.6	34.6	84	△394
その他事業	177	6.6	45.6	193	8.4	47.3	109	16
研究開発費および 親会社の本社管理費等	△1,538			△1,334				
連結営業利益	1,131		14.7	957		14.8	85	△174

*米国医薬品事業の現地通貨ベースセグメント利益は期中平均レートに基づき算出

*イーストアジア、米国、欧州、ニューマーケット アセアンは医薬品事業

イーストアジアでの価値創造

アリセプトでさらに続くAD疾患啓発／診断／治療 における価値創造



患者様動向

- 世界の認知症患者様数は毎年約770万人増加すると推定*1
(2011年 3560万人、2030年 6570万人、2050年 1億1540万人)
- 日本のAD治療薬市場も拡大(2011年度は前期比123%)*2、AD症患者様は推計**307万人***3

疾患啓発

- 市民公開講座、メディア活用などによる疾患啓発活動の強化
- 地域の認知症連携ネットワーク支援「認知症患者様が安心して暮らせるまちづくり」の更なる推進

診断

- Alzheimer's Disease Neuroimaging Initiative (J-ADNI, US-ADNI) の進展
- βアミロイド画像診断薬の実用化(米国)
- 血液中/CSF中のβアミロイド等のバイオマーカー診断技術の進展
- 早期診断・治療による新たなパラダイム

アリセプト治療

- フルステージで適応可能な唯一のAD治療薬
- Double Blind臨床試験エビデンス19報(The New England Journal of Medicine*4の論文を含む)
- 新たな価値創造に向けたイノベーション
レビー小体型認知症(Ph.III実施中)、ダウン症に伴う退行症状(開発準備中)
ドライシロップ剤(申請中)、高用量製剤23mg錠(Ph.III実施中)、パッチ製剤(Ph.I 実施中)

*1 Dementia: A Public Health Priority - 2012年 World Health Organization

*2 ©2012 IMS Japan, 出典:JPM 2011年4月-2012年3月をもとに作成 無断転載禁止

*3 平成17年の国勢調査に基いた65歳以上の人口のデータ値をもとに、平成21-22年度の厚生労働科学研究費補助金(認知症対策総合研究事業)において行われた地域疫学調査の認知症率を用いて推計値を算出

*4 Robert Howard, et al. 2012;366:893-903. 進行的AD患者様への継続的なアリセプト治療が、52週間の長期にわたって臨床的に有用であることが示された

アリセプトによる患者様貢献拡大と収益性の向上



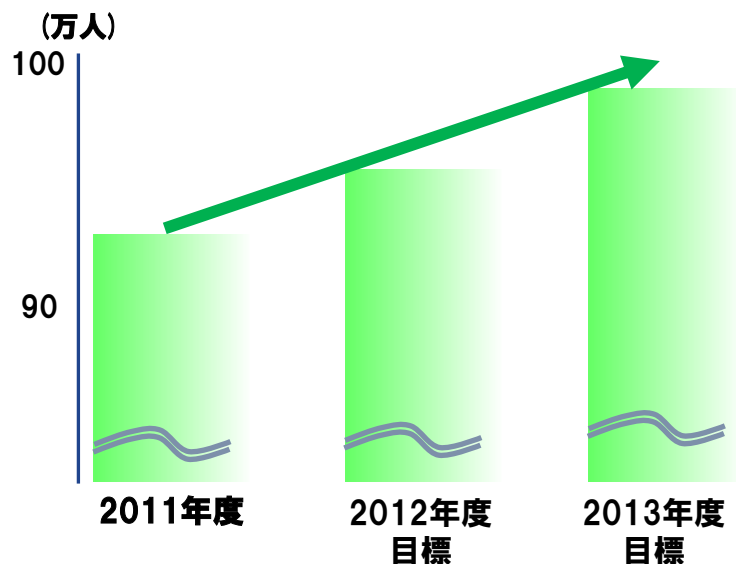
アリセプトによる患者様貢献の拡大

- 未だ未治療のAD患者様(全体の6割強)へのアリセプトでの処方拡大・服薬継続率の向上
- 高度AD患者様への10mg錠の処方拡大
2011年度16%*1 → 2012年度目標23%

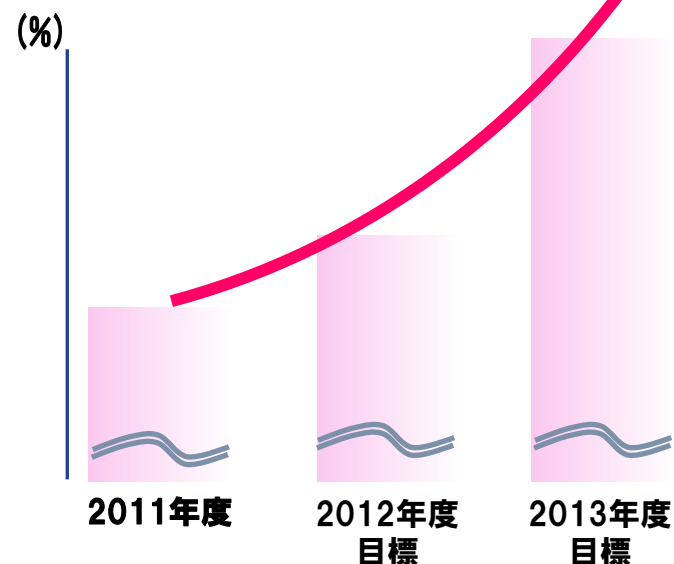
アリセプトの収益性の向上

- **アリセプト国内単独プロモーション開始
2013年1月1日より**

アリセプトを服用している患者様数の推移



アリセプトの貢献利益率のイメージ



*1 アリセプトの国内全売上高に占める10mg錠の売上高比率(2011年度アリセプト10mg錠は前期比148%で成長)

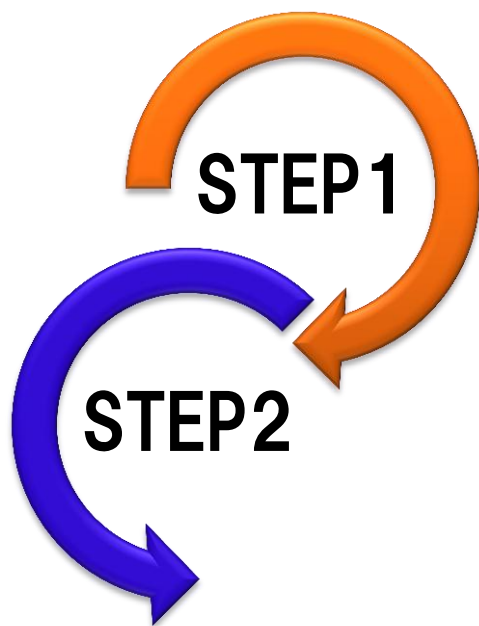
不眠症の新たな治療オプション



ルネスタの特徴

米国での豊富な処方実績と国内臨床試験により下記ポイントを確認

- 入眠障害の改善効果が高く、中途覚醒にも効果がある
- 臨床的に問題となる持ち越し（日中の眠気、ふらつき、脱力/頭痛、倦怠感）効果が少ない
- 国内長期投与試験でQOLの有意な改善データを保有



2012年度～2013年度

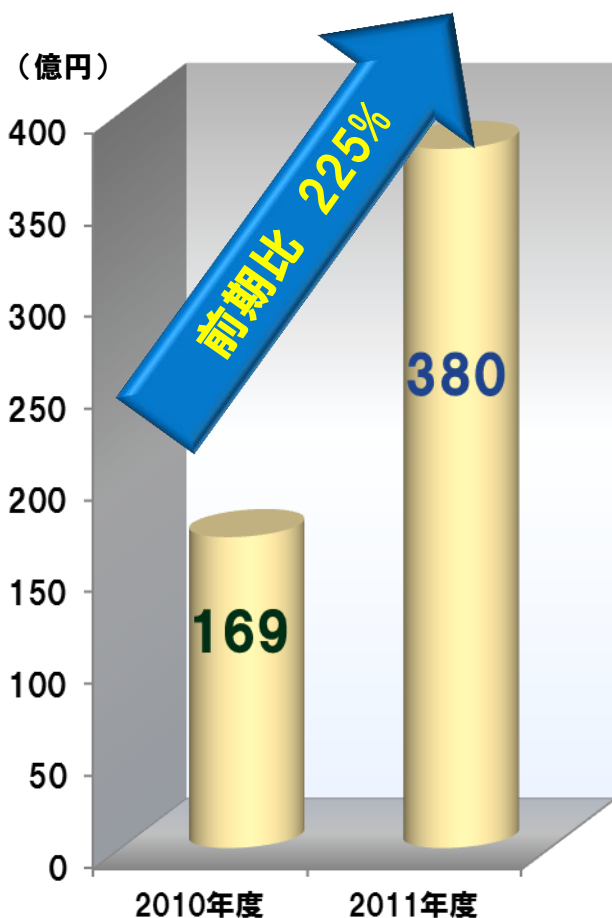
Target: 精神科での第一選択薬をめざす
（精神疾患を伴う不眠症全てにおいて処方可能）

2012年4月18日：ルネスタを成功裏に上市
発売当月で普及軒数26,000軒

2014年度～2015年度

Target: 全診療科のさらなるプレゼンス向上を達成し、
トップブランドをめざす

引き続き躍進する国内新製品群



ハラヴェン

普及施設1,000軒も目前(4月時点966軒)
最優先の300施設中292施設で採用済み

トレアキシ

適応追加によるさらなる拡大をめざす

ヒュミラ

2011年7月 若年性突発性関節炎 承認取得

2011年9月 「RAにおける関節の構造的損傷の防止」申請

2012年3月 「潰瘍性大腸炎」申請

リリカ

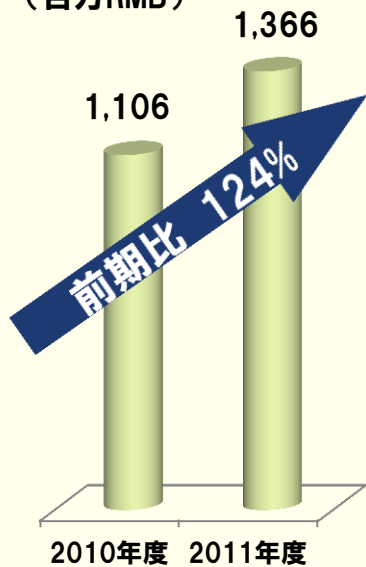
「線維筋痛症」申請中

(億円、%)

次世代 成長ドライバー	2010年度	2011年度	前期比	前期差
ハラヴェン	—	31	—	31
トレアキシ	8	32	409	24
ヒュミラ	133	205	154	72
リリカ (アライアンス収入)	28	113	397	84
総 計	169	380	225	211

急進拡大する中国事業

(百万RMB)



2011年度 中国事業

売上高伸長
前期比
124%

継続的な
成長への
再投資

肝臓領域、がん領域などの
新製品上市に向けた積極投資

慢性B型肝炎治療剤
「クレブジン」

2012年度上市予定

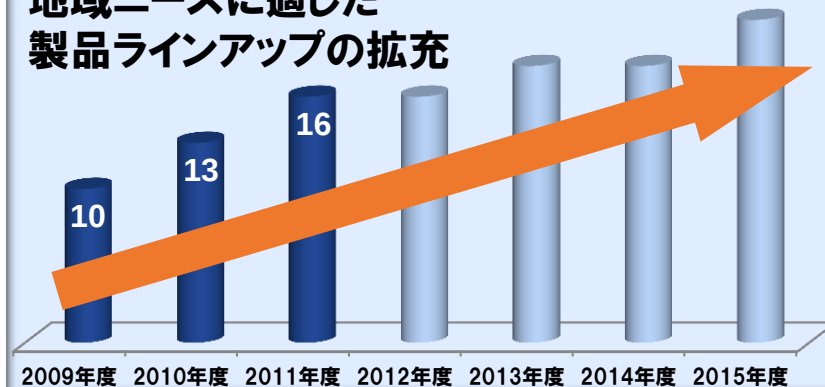
成長を加速させるローカルな
事業開発投資

2011年度の製品ラインアップ (16製品)

アリセプト	パリエット	強力ネオ ミノファージェンシー ／グリチロン	グルファスト
メチコバル	セルベックス	ケスチン	Eldepryl
ミオナール	ノイキノン	グラケー	Fareston
メリスロン	エリル	α-Lipon	ホルキス

取り扱い製品数の拡大

地域ニーズに適した
製品ラインアップの拡充



2012年度の主なグローバル上市予定



ハラヴェン 7カ国

第2四半期(アイルランド)

第3四半期(韓国、インドネシア、フィリピン)

第4四半期(ベルギー、香港、マレーシア)

ペランパネル 6カ国

第2四半期(英国、ドイツ、オーストリア)

第3四半期(デンマーク)

第4四半期(スイス、スペイン)

ルネスタ

入眠障害と中途覚醒のいずれにも有効な不眠症治療薬:日本上市済

ケアラム

炎症性サイトカイン・免疫グロブリン産生を抑制する新規疾患修飾性抗リウマチ剤:第2四半期(日本)

クレブジン

中国市場で大きなポテンシャルを有する慢性B型肝炎治療剤:第3四半期(中国)

ギリアデル

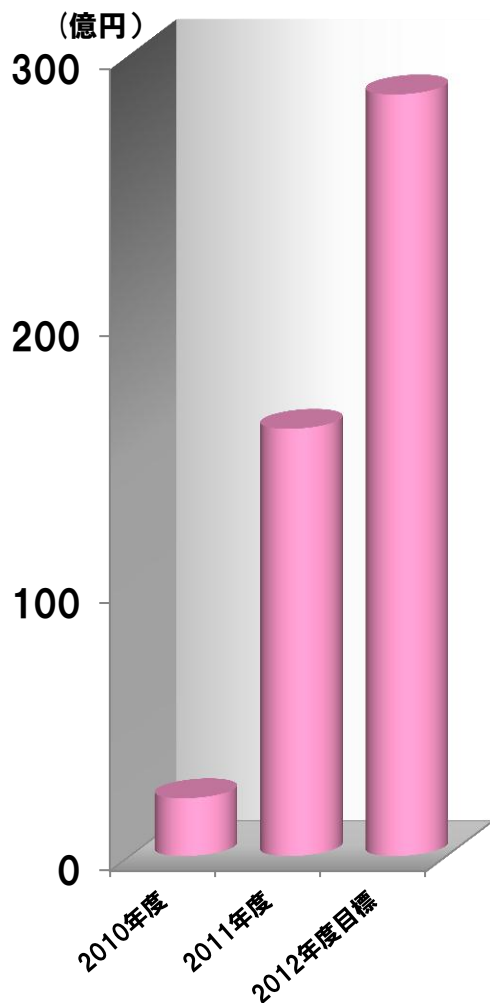
脳腫瘍(悪性神経膠腫)に対する世界で唯一の脳内インプラント徐放製剤:第3四半期(日本)

ロルカセリン

米国におけるアンメットニーズを充足する新規メカニズムの肥満症治療剤:第4四半期(米国)

計画「はやぶさ」主力品の台頭

ハラヴェン成長戦略



2011年度

世界35カ国で承認取得
160億円達成

世界50カ国以上(計画)で承認取得をめざす
2012年度 285億円目標

日米欧での販売拡大

日本: Doctor to Doctor Marketingにより乳がん患者様に貢献
乳がん患者様を対象としたフォーラムの開催

米国: ブランディング戦略(広告活動、KOLsへ販促、学会等)

欧州: 独、英、伊、償還取得済、仏、スペインでの償還取得予定
ファーマ スイス社による中・東欧への販路拡大

乳がんセカンドライン試験データの発表

グローバルプロジェクトチームによる最大化戦略の策定

ハラヴェンの価値最大化に向けたエビデンスの創出 適応拡大・新製剤開発が順調に進行中



乳がん(適応拡大)

- ファーストライン:
フェーズIII試験に向けて
当局との相談準備中
- アジュバント、ネオアジュバント:
順調にパイロット試験進行中
- 自社抗がん剤との併用:
フェーズII準備中

非小細胞肺がん(適応拡大)

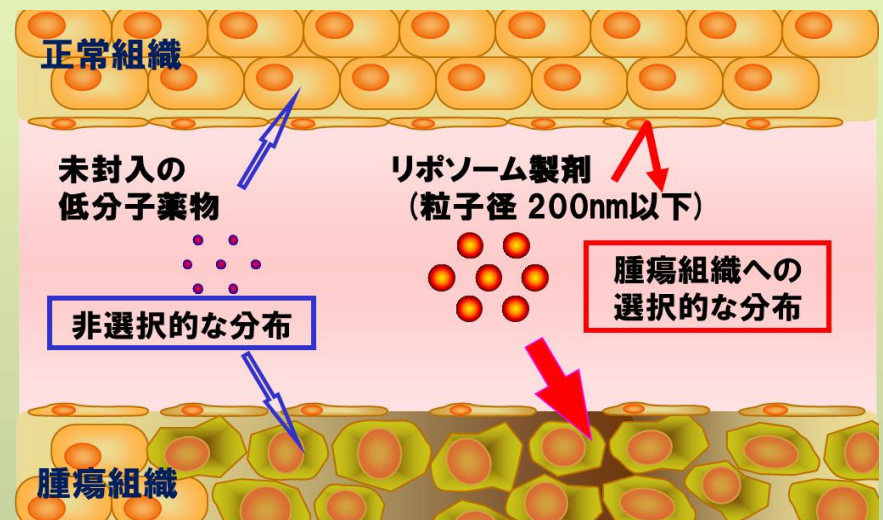
- フェーズIII試験中

軟部肉腫(適応拡大)

- フェーズIII試験中

リポソーム製剤(新製剤開発)

より効率的にがん細胞にハラヴェンが届き、がん細胞を集中的に攻撃することで、安全性・有効性が高まると期待 **現在フェーズI準備中**



腫瘍組織では血管透過性が亢進し、リポソーム製剤が血管から移行しやすい。また、リンパ系が未成熟のため、腫瘍組織に到達したリポソーム製剤は蓄積しやすい。その結果、未封入薬物に比べて5-20倍高濃度で腫瘍組織に分布する

(京都大学西川元也先生作成の図を許諾のもと一部改編)

- 1)ハラヴェンが効きづらい前臨床 *in vivo* 評価モデルでも、明確な腫瘍縮小効果を示した
- 2)ハラヴェン感受性の前臨床 *in vivo* 評価モデルにおいて、約1/4の化合物量で同等の抗腫瘍効果を示した

ペランパネル“ Fight Neuronal Hyperexcitation”



部分てんかん発作における併用療法

欧州: Day180アセスメントレポートに対する回答は提出済で、順調に審査が進行中
2012年度上期中の上市を見込む

米国: 順調に審査が進行中、10月22日がPDUFAアクションデート
2013年度第1四半期中の上市を見込む

地域拡大 着実な承認申請の進行

スイス: 承認申請 (2011年 7月12日)

ロシア: 承認申請 (2011年10月17日)

カナダ: 承認申請 (2012年 2月29日)

Indo-Pacific: 欧米データを活用しての申請を準備中

ペランパネルの価値最大化をめざして

難治性部分てんかん発作の併用療法(上市時期)

欧州

米国

アセアン、他

日中韓

2012

2013

2014

2015

難治性全般てんかん発作(強直間代発作)
の併用療法(申請時期)

欧米

アセアン、他

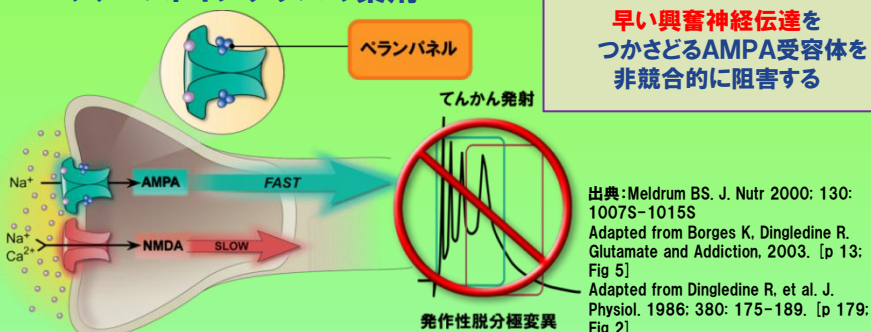
てんかん患者様数(2010年)

世界:5000万人超*1

日米欧州主要5カ国(G7):530万人*2

新規の作用機序

- 既存薬と異なるメカニズム
- シナプス後AMPAレセプターのグルタミン酸等の興奮性神経伝達物質と非競合的に拮抗し、てんかん発作の神経過興奮を減少させるファーストインクラスの薬剤



優れた有効性

- 12歳以上の難治性の部分てんかん患者様において
- 18-34%(中央値)の発作頻度が減少(304/305/306試験)
- 併用頻度の高い抗てんかん薬であるLevetiracetamまたはlamotrigineを服用されている患者様においてもてんかん発作頻度がそれぞれ35%、31%減少
- 二次性の全般てんかん発作頻度においても、最大63%(中央値)減少

優れた忍容性

- 約9割の有害事象は軽度から中等度

服用の簡便さ

- 1日1回服用

てんかん専門医の注目点*3

新規の作用機序、優れた有効性、優れた忍容性、服用の簡便さ

米国FDA諮問委員会で有用性を支持 肥満症治療剤:lorcaserin



- ファーストインクラスの選択的セロトニン受容体(5-HT_{2c})アゴニスト
- 臨床試験での対象患者様
肥満症(BMI:30以上)の患者様、または1つ以上の合併症を有する
過体重(BMI:27以上)の患者様
- 2012年6月27日がPDUFAアクションデート
- 第4四半期中に上市を見込む

＜FDA諮問委員会結果＞

2012年5月10日

ポテンシャルリスクよりも

ポテンシャルベネフィットが上回る

賛成:18、反対:4、棄権:1

＜契約変更:ライセンス地域を拡大＞ (対象地域)

米国、メキシコ、ブラジル、カナダ等を含む米州20カ国に拡大

米国における肥満の割合は2010年に36%*(推定数:1億1千万人)
アンメット・メディカル・ニーズが存在する肥満症領域に新しい選択肢の提供へ

Innovation and Innovation

（Innovationによる価値創造）

イノベーションを興すエーザイ方程式



**Human Biology based
Therapeutic
Hypothesis**

×

Modern Chemistry

=

Innovation

H3B^{*1}/ONC^{*2}

SF3b遺伝子の点変異
RET遺伝子の染色体転座

ONC^{*2}

肝細胞増殖因子(HGF)/c-MET
抗がん剤耐性への関与

疾患
関連
抗原

MOR^{*3}

葉酸受容体α
エンドシアリン

KAN^{*4}

ケモカイン

Aβ
仮説

NSE^{*5}

BACE

化合物ライブラリー

ニューロロジーフォーカス
オンコロジーフォーカス
天然物
構造多様性(DOS)

抗体創製技術

Human Biology
からのターゲットの同定と
バリデーション

Human Biology
に基づく *In vitro* / *In vivo*
アッセイ

ベーシック
メディシナル
プロセス } ケミストリー

バイオマーカー研究
コンパニオン診断薬

**Lenvatinib
Pladienolide
derivatives**

Golvatinib

**Farletuzumab
MORAb-004**

**KANAb001
(E6011)**

E2609

Human Biology仮説を活用した開発戦略

Lenvatinib、H3 Biomedicine、Farletuzumabの事例



Lenvatinib (E7080)

ユニークな受容体チロシン
キナーゼ阻害プロファイルをもつ
自社創製の経口分子標的薬

C-RET転座を有する非小細胞肺癌患者様を対象とした臨床開発の推進
一部の患者様で染色体転座によりRET遺伝子の融合遺伝子が存在、lenvatinibの
ターゲットの1つであるRETキナーゼの異常なリン酸化により、発がんが誘導される。

対象患者様の効率的な見極めと高い奏功率を実現

- 患者様を層別して非小細胞肺癌のフェーズII試験を計画
- 染色体転座 (RET遺伝子) を診断するコンパニオン診断薬の開発を計画
- Deep sequencing 技術を駆使して染色体転座を検出

H3 Biomedicine

ヒューマンゲノミクスと構造
多様性(DOS: Diversity
Oriented Synthesis)化合物
ライブラリーを融合すること
で個別化医療を企図した
抗がん剤を創出

Human biology-based assayを可能にするHorizon社の技術プラットフォームを
活用して、創薬標的分子同定のスピードアップと確実なバリデーションを実現

Horizon社の持つコア研究ツールの1つ
遺伝子組換えアデノ随伴ウィルスを
介した遺伝子操作(GENESIS™)による
精密なFunctional Genomics(遺伝子の
ノックイン/ノックアウト)

患者様で実際に起こっている
遺伝子変異を、より生理的な条件下
において、狙った場所に、桁違いの
効率で、細胞内に導入することが
できる画期的技術

Farletuzumab (MORAb-003)

Morphotek創製の、葉酸
受容体 α (FRA) に対する
ファーストインクラスのヒト
化モノクローナル抗体

プラチナ感受性再発卵巣がんフェーズIII試験

- 世界30カ国、1100例の患者様登録完了
- 2012年度 第4四半期、日米欧で同時申請予定



FRA発現診断キット

FRA発現診断キット Biocare社との提携により研究用として新発売

卵巣がん患者様ではFRA陽性率が90%以上、非小細胞肺癌においても
FRA発現が確認されており、すでに臨床試験を開始

Human Biology仮説を活用した開発戦略

MORAb-004、KANAb001(E6011)、E2609の事例



MORAb-004

Morphotek創製の、Tumor endothelial marker1 (TEM-1) / エンドシアリンに対するファーストインクラスのヒト化モノクローナル抗体

フェーズⅠ試験 忍容性を確認、複数のがん種にて効果を確認
現在、コンパニオン診断薬候補となるバイオマーカー検討を含めた3種のフェーズⅡ試験を推進

- メラノーマ フェーズⅡa 試験、規定患者様登録を完了
- 大腸がん フェーズⅡ試験実施中、2012年度末試験完了予定
- 肉腫 フェーズⅡ試験準備中

KANAb001 (E6011)

KAN創製のケモカインを標的としたファーストインクラスのヒト化モノクローナル抗体

免疫難病に対する早期・探索的臨床試験拠点に採択された慶應義塾大学との連携により、炎症性腸疾患に対するファーストインクラスの抗体医薬として開発を進める

2012年度第2四半期中に
炎症性腸疾患についてフェーズⅠを開始

E2609

BACE阻害により、症状改善だけでなく、疾患修飾(原因)療法を狙う自社創製の次世代経口アルツハイマー病治療薬

- 健常人を対象としたフェーズⅠ試験を完了：
良好な血液中/CSF中のβアミロイド量低下作用を、単回投与および反復投与で確認
- 軽度認知障害(MCI)患者様を対象としたフェーズⅠ試験を開始する予定
- 臨床試験においてβアミロイドの画像診断薬を用いた評価を検討中

企業価値の最大化をめざして

2012年度 連結業績見通し



	2011年度		2012年度			(億円、%)
	実績	売上比	見通し	売上比	前期比	
売上高	6,480	100.0	6,100	100.0	94	
売上原価	1,734	26.8	1,760	28.9	101	
売上総利益	4,746	73.2	4,340	71.1	91	
研究開発費	1,251	19.3	1,260	20.7	101	
販売管理費	2,537	39.1	2,210	36.2	87	
営業利益	957	14.8	870	14.3	91	
経常利益	900	13.9	820	13.4	91	
当期純利益	585	9.0	590	9.7	101	
EPS(円)	205.3		207.0			
ROE(%)	14.3		14.1			
DOE(%)	10.4		10.2			
キャッシュ・インカム	1,077		1,075			
配当金(円)	150		150			

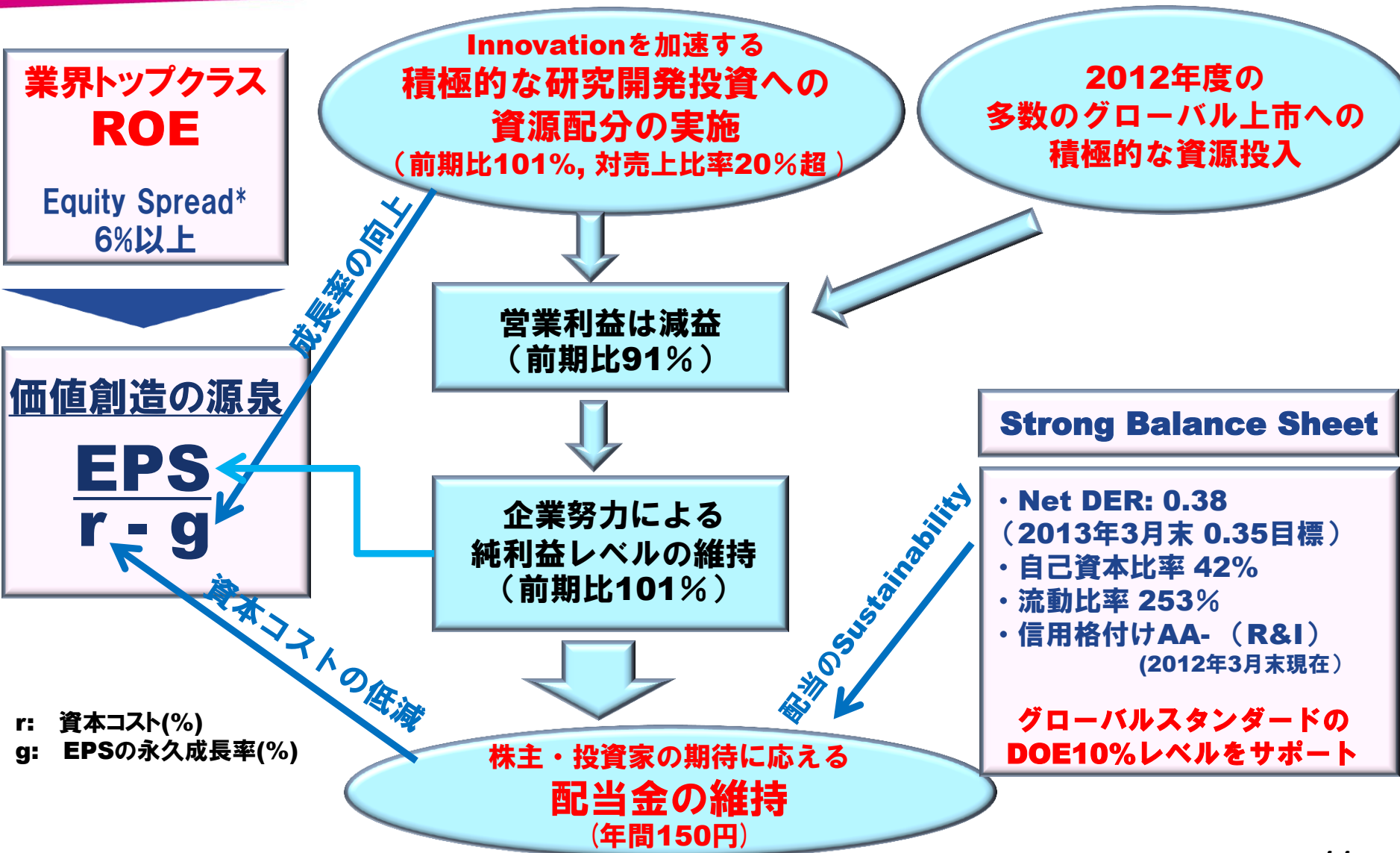
キャッシュ・インカム：成長投資・事業開発、配当支払、借入返済等に使用可能なキャッシュの総額

算式：当期純利益＋有形・無形固定資産減価償却費＋インプロセス研究開発費＋のれん償却額＋減損損失（投資有価証券評価損含む）

2011年度期中平均レート：米ドル79.1円、ユーロ：109.0円、ポンド：126.2円

2012年度予想レート 米ドル：80円、ユーロ：105円、ポンド：120円

2012年度 企業価値の最大化をめざして 成長投資と株主還元の両立



r: 資本コスト(%)
g: EPSの永久成長率(%)

参考資料

イースト アジア医薬品事業の業績



(億円、%)

	2010年度		2011年度		
	実績	売上比	実績	売上比	前期比
売上高	3,757	100.0	4,004	100.0	107 [107]
アリセプト	1,108	29.5	1,138	28.4	103 [103]
パリエット	632	16.8	636	15.9	101 [101]
メチコバル	366	9.8	377	9.4	103 [103]
ヒュミラ	166	4.4	240	6.0	145 [146]
強力ネオミノファーゲンシー/グリチロン	76	2.0	80	2.0	105 [106]
セグメント利益	1,491	39.7	1,677	41.9	112

[]内は現地通貨ベース

イースト アジア医薬品事業の業績



<日本>

(億円、%)

	2010年度		2011年度		
	実績	売上比	実績	売上比	前期比
売上高	3,504	100.0	3,726	100.0	106
医療用医薬品計	3,111	88.8	3,312	88.9	106
アリセプト	1,055		1,083		103
パリエット	602		609		101
メチコバール	304		300		99
ヒュミラ	133		205		154
アクトネル	115		110		96
一般用医薬品	207	5.9	217	5.8	105
ジェネリック医薬品	124	3.5	137	3.7	111
診断薬	61	1.7	60	1.6	98
セグメント利益	1,450	41.4	1,626	43.6	112

<中国>

(百万RMB、%)

	2010年度		2011年度		
	実績	売上比	実績	売上比	前期比
売上高	1,106	100.0	1,366	100.0	124
メチコバール	474	42.9	605	44.3	128
強力ネオミノファーゲンシー/グリチロン	234	21.1	303	22.2	130
アリセプト	99	8.9	131	9.6	133
パリエット	86	7.8	95	6.9	110

米国医薬品事業の業績



(百万米ドル、%)

		2010年度		2011年度		
		実績	売上比	実績	売上比	前期比
売上高		3,535	100.0	1,990	100.0	56
アリセプト		1,790	50.6	144*1	7.3	8
アシフェックス		765	21.6	707	35.5	92
	ハラヴェン	25		137		545
	Aloxi	403		436		108
	Dacogen	189		219		116
	MGI計	628		686		109
	Fragmin	191		176		92
がん関連領域計		908	25.7	1,050	52.7	116
セグメント利益*2		1,101	31.2	429	21.6	39

*1 米国はアリセプト23mgの売上高51百万米ドルおよびAG(オーソライズドジェネリック) 36百万米ドルを含む

*2 米国医薬品事業の現地通貨ベースのセグメント利益は期中平均レートに基づき算出

欧州 ニューマーケット アセアン 医薬品事業の業績



<欧州>

(億円、%)

	2010年度		2011年度		
	実績	売上比	実績	売上比	前期比
売上高	444	100.0	422	100.0	95 [99]
アリセプト	244	55.0	201	47.7	83 [86]
パリエット	64	14.4	52	12.3	81 [84]
ゾネグラン	43	9.8	45	10.7	104 [108]
セグメント利益	47	10.6	71	17.0	152

[]内は現地通貨ベース

<ニューマーケット アセアン>

(億円、%)

	2010年度		2011年度		
	実績	売上比	実績	売上比	前期比
売上高	69	100.0	72	100.0	103 [109]
アリセプト	18	25.3	17	23.5	95 [102]
パリエット	18	25.2	17	23.6	96 [103]
セグメント利益	10	14.4	10	13.9	100